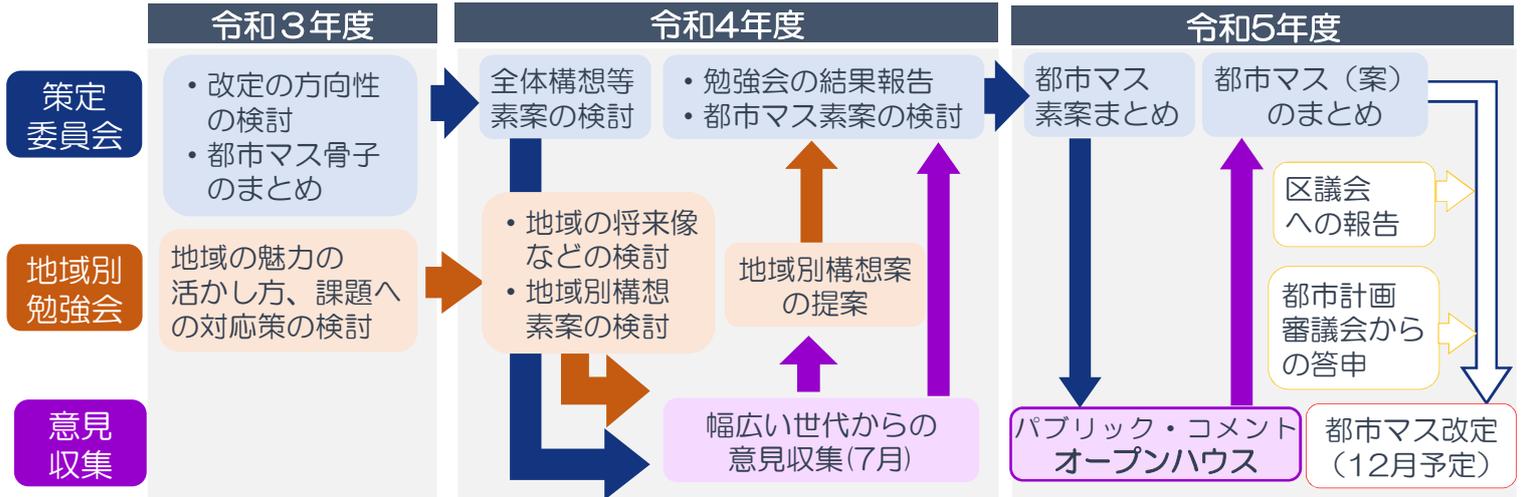


葛飾区都市計画マスタープラン素案について

改定スケジュール

(素案 p.160 参照)

策定委員会 : 学識経験者や区内関係団体代表等で構成
 地域別勉強会 : 自治町会等からの推薦や公募による区民で構成



パネルの内容は、都市マス素案のポイントを整理したものです。
 二次元コードから、該当する素案の章、説明動画のチャプターをご覧になれます。



第2章

基本理念

～人と人がつながり、地域を輝かせるために～

みんなでつくる、水と緑豊かな、安全で快適に暮らし続けられる『かつしか』

●葛飾区基本構想に謳う「本区の将来像」の実現に向け、都市計画分野で受け持つ役割を踏まえ設定しています。

目標

様々な自然災害に対応し、被災を繰り返さないまち



人々が集い、憩える、賑わいある魅力的なまち



安全で、移動しやすい交通環境が整備されたまち



誰もが親しめる、河川や緑豊かな都市環境が広がるまち



多様な主体が協働し、豊かな地域社会を構築するまち



● 基本理念に基づいて5つの目標を定めています。

理想像

目標が実現された理想のまち

● 20年の計画期間に捉われない理想のまちのイメージを描写しています。

将来の都市像

将来の都市像

- | | | | |
|-----------------|-------------------------|---------------------|------------------------|
| ①みんなでつくる安全なまち | ④充実した交通網による移動しやすいまち | 都市構造
2つの
都市構造 | ○多核連携型の都市構造 |
| ②メリハリある利便性の高いまち | ⑤地域の特性を踏まえた公園整備と沿川まちづくり | | ○利便性の高い身近な生活圏を形成する地域構造 |
| ③賑わいが創出される地域づくり | ⑥緑豊かな街並み景観 | | |

● 理想像を見据え、計画期間内に目指す将来の都市像と実現に向けた分野別方針を整理しています。

分野別方針



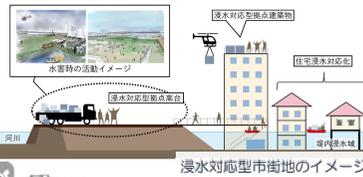


二次元コードから、該当する説明動画のチャプターをご覧いただけます。

様々な自然災害に対応し、被災を繰り返さないまち（水害への対応）



高台化されて浸水しづらい市街地



住宅地と拠点を結ぶフィーダー交通



人々が集い、憩える、賑わいある魅力的なまち



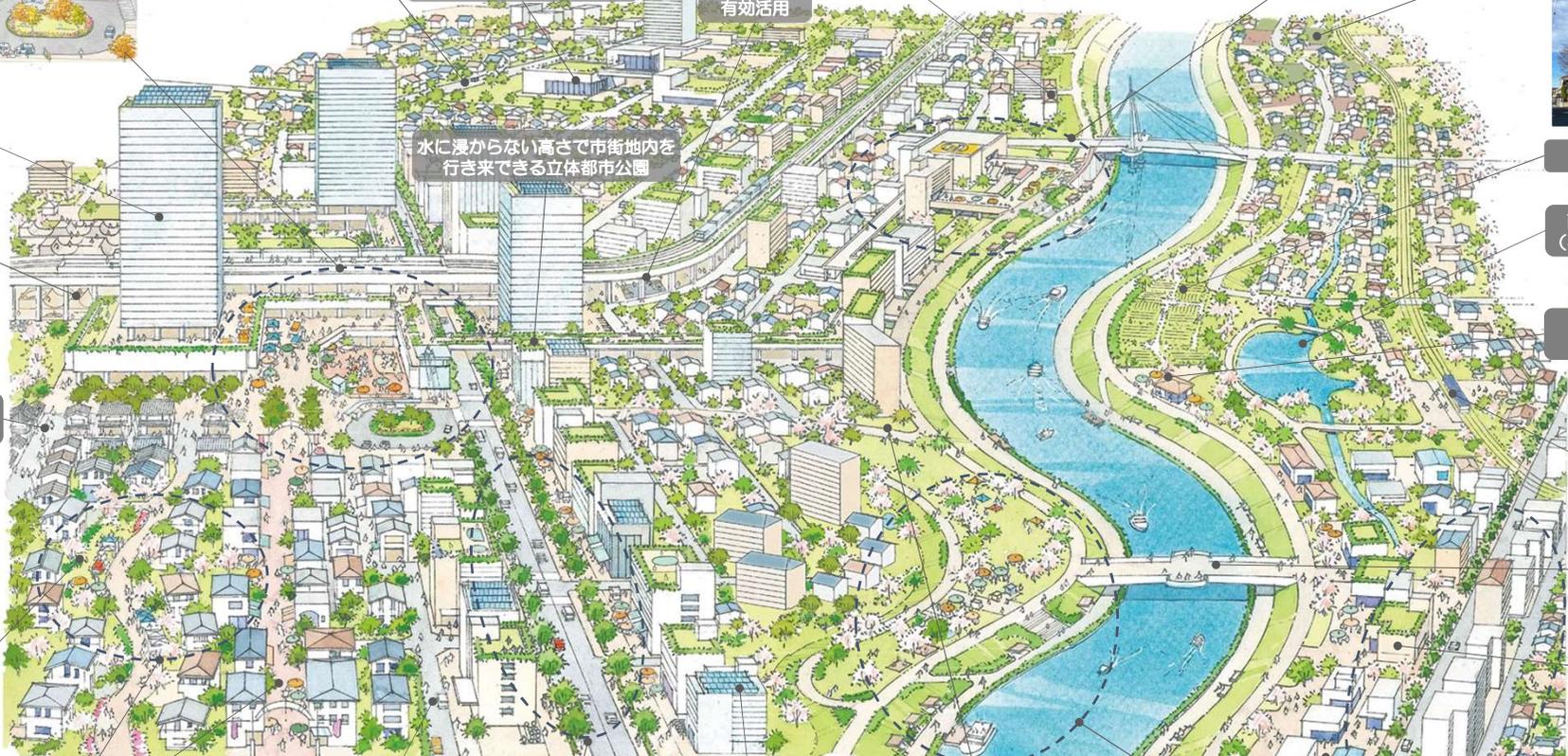
豊かな緑に囲まれた住宅地



高架下空間の有効活用

病院、店舗、大学、公園等が集まる生活の拠点

水に浸からない高さで市街地内を行き来できる立体都市公園



農業体験ができる公園



雨水流出を抑制する窪地（平常時、区民が憩う公園）

川や景色を眺められる水辺の展望台

新たな公共交通

対岸を結ぶ人道橋

地域の安全や賑わいに貢献する施設や事業所

周辺環境と調和した町工場

多くの機能を備えた駅前の拠点ビル

ストリートスポーツが楽しめる空間

地域のルールで保全された歴史ある街並み

各家庭の緑がまちに広がる、民有地の緑の保全・創出

活況な商店街

子どもたちが遊べ、スローモビリティが通行できる安全な裏路地空間

環境に配慮した建築物



ゼロエネルギービル（ZEB）のイメージ

地下鉄が整備

安全で、移動しやすい交通環境が整備されたまち



歩いて楽しい線道空間やコミュニティ道路



水路跡等での歩行者・自転車系の道路イメージ

誰もが楽しめる、河川や緑豊かな都市環境が広がるまち



様々な自然災害に対応し、被災を繰り返さないまち（震災への対応）



多様な主体が協働し、豊かな地域社会を構築するまち



都市構造

素案 p.37~42参照

二次元コードから、該当する素案の章、説明動画のチャプターをご覧いただけます。



- 区内各地の都市機能集積「拠点」を、道路や公共交通の「ネットワーク」で結びつける多核連携型の「都市構造」を形成します。

広域拠点
土地の有効・高度利用を図りながら、広域的な商業・業務等多様な機能の集積、良質な中高層住宅を誘導



金町駅周辺

特徴ある生活拠点
地域の核となる特徴的な施設等を活用した多様な地域活動を促進

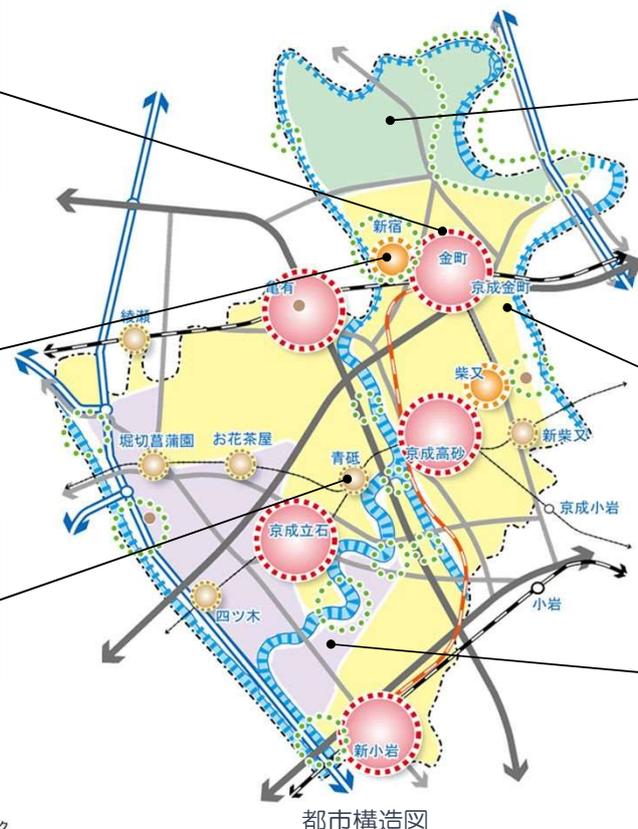


新宿六丁目地区

生活拠点
地域の特性に合わせた都市基盤整備を進め、日常生活を支える身近な商業・サービス機能の集積を誘導



青砥駅



住環境保全ゾーン
緑豊かでゆとりある良好な住環境を保全するゾーン



複合住宅ゾーン
住宅と商業施設等の複合的な土地利用から構成するゾーン



住工共存ゾーン
住宅と工業施設の共存・調和を図るゾーン



- 凡 例
- 水と緑の拠点
 - 観光名所
 - 行政界
 - 都市間ネットワーク
 - JR
 - 私鉄
 - 幹線道路
 - 高速道路
 - 地域間ネットワーク
 - 新金線
 - 幹線道路
 - 河川・水辺のネットワーク

- 身近な生活圏域に、日常生活に必要な機能を配置し、複数の生活圏が重なり合いながら連続することで、隣接する生活圏が不足する施設等の機能を補完し合う「地域構造」を形成します。

豊かな水や緑を保全するエリア
将来、特に人口密度の減少（主に80人/ha未満）が想定されるエリア

低層・低密度で緑豊かなゆとりある住宅地

街のなかの農地を保全

公園や水辺・緑を保全



高台化など浸水対応を促進するエリア
大規模水害時の家屋倒壊等氾濫想定区域や、概ね1週間から2週間以上の浸水継続時間が想定される河川沿いのエリア

高台化や浸水対応型拠点建築物等へ建替え

浸水対応型拠点建築物等へ建替え

家屋倒壊等氾濫想定区域

浸水想定区域




- 凡 例
- 生活圏
 - 利便性の高い身近な生活圏を形成（全域）
 - 一定規模の面積を有する公園（新設）
 - 新総合庁舎
 - 一定規模の面積を有する公園（既設）
 - ★ 区役所・総合庁舎
 - 区民事務所
 - 区民サービスコーナー
 - 大規模店舗
 - 医療施設（歯科医院を除く（病院））
 - （上記各施設は現在位置を表示）
 - 都市間ネットワーク
 - JR
 - 私鉄
 - 地域間ネットワーク
 - 新金線
 - 主要バス路線（片側90本/日以上（概ね15分間隔））
 - 行政界
 - 医療施設：国土数値情報（医療機関）（令和2年度）



二次元コードから、該当する説明動画のチャプターをご覧ください。

震災への対応

- 地震に強い街をつくるため、道路等の基盤整備や建築物の不燃化を促進し、木造住宅密集地域の解消や延焼遮断帯の形成を図ります。

整備地域

震災時の危険性が高い木造住宅密集地域。道路等の基盤整備による細路路や行き止まり道路などの解消、建築物の不燃化等による防災性の向上と住環境の改善を図る

重点整備地域

整備地域のうち、早期に防災性の向上を図るべき市街地。密集住宅市街地整備促進事業や地区計画による規制・誘導、不燃化特区の助成制度の活用など、積極的な防災対策に取り組む



木造住宅密集地域における狭い道路の拡幅と沿道建物の不燃化

災害に強い街づくりを検討する地域

地域危険度が高い地区では、地域との協働により、防災生活道路の拡幅整備や建築物の不燃化等を促進



狭い道路 (西新小岩五丁目地区)



防災まちづくり方針図(震災)

避難場所

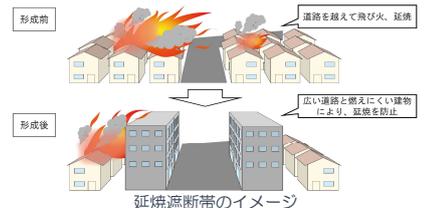
避難場所の多くは河川敷にあるため、内陸部における避難場所等の確保を推進するとともに、近隣自治体等と連携しながら、災害時の避難・救援・消化活動を円滑化するための避難経路の整備等を推進



避難スペースとなる防災協力農地

延焼遮断帯

地震に伴う市街地火災の延焼を阻止する機能を果たす道路、河川、鉄道、公園等の都市施設及びこれらに近接する耐火建築物等により構成される带状の不燃空間



延焼遮断帯のイメージ

水害への対応

- 地域力の向上や市街地構造の改善により、浸水に強く、親水性の高い水辺の街として浸水対応型市街地の形成を推進します。

※浸水対応型市街地は、大規模水害のリスクが高まった際の広域避難が困難な場合に備え、垂直避難が可能な中高層建築物などが配置され、水が引くまでの間一定の生活機能が確保される街のこと

- 凡 例
- 主要幹線道路
 - JR
 - 私鉄
 - 高速道路
 - 河川
 - 行政界



防災まちづくり方針図(水害)

拠点建築物群整備促進エリア

各拠点駅での開発にあわせた拠点建築物の整備促進

浸水対応型拠点建築物

区立小中学校では、水が引くまでの間、避難生活を送れるように改修にあわせた浸水対応型拠点建築物化を推進

浸水対応型拠点高台

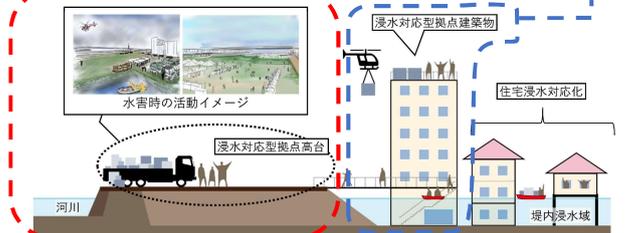
大規模水害時に、避難者や物資の輸送及び復旧・復興の中継点になるとともに、緊急的に避難し、浸水を免れるオープンスペースとして浸水対応型拠点高台を整備



小管西公園



水害時の活動イメージ



浸水対応型市街地のイメージ

住宅浸水対応化促進

戸建て住宅についても、浸水を防ぐ取組や、復旧しやすい建て方の工夫など住宅浸水対応化を促進

第3章-分野別方針-

土 土地利用の方針

(素案p.57~62参照)

二次元コードから、該当する説明動画のチャプターをご覧ください。

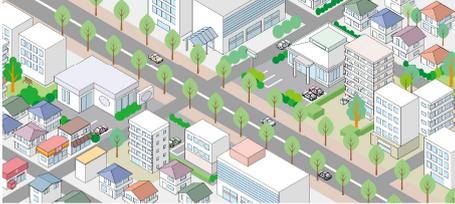
説明動画



- それぞれの地域が、これまでの歴史や風土に培われた個性と特徴を生かして発展するとともに、相互に補完し合いながら全体として、安全・便利・快適な、よりよい街の形成を目指します。

沿道型複合地域

幹線道路沿道では、広域的な道路機能や自動車交通の利便性などを踏まえ、地域の特性に合わせた高度利用や様々な用途を誘導



沿道型複合地域のイメージ

住環境保全型地域

農地が多く残る戸建て住宅中心の住宅地において、現在の良好な住環境を保全し、緑豊かでゆとりある低層市街地の形成を誘導



住環境保全型地域のイメージ

住工調和型地域

住宅と工場が混在する地域では、工場の操業環境と周辺の居住環境が調和した市街地の形成を誘導



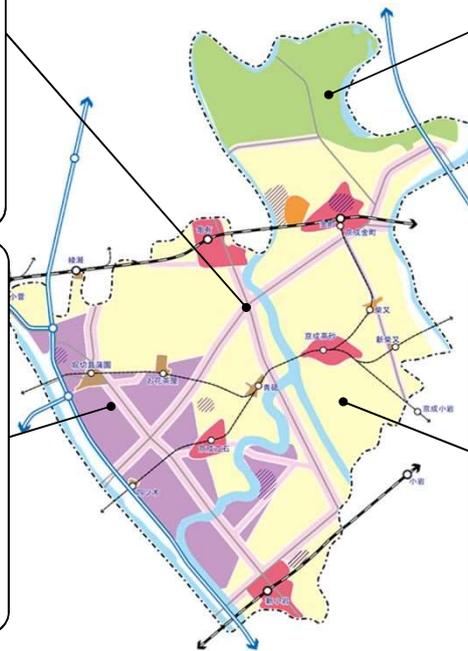
住工調和型地域のイメージ

複合型住宅地域

住環境の改善を図りながら、低中層の住宅と商業・業務等施設が調和した、利便性の高い市街地の形成を誘導



複合型住宅地域のイメージ



土地利用方針図

- 凡 例
- 広域拠点
 - 特徴ある生活拠点
 - 生活拠点
 - 土地利用誘導・検討地域
 - 主要幹線道路
 - JR
 - 私鉄
 - 高速道路
 - 河川
 - 行政界

市 街地整備の方針

(素案p.63~70参照)

二次元コードから、該当する説明動画のチャプターをご覧ください。

説明動画



- 市街地開発等においては、地域の特性を踏まえた都市機能誘導や都市基盤整備などを進めるとともに、住民等が主体の街づくりに関する地域活動を促進します。また、地域の状況に応じて、地区計画等による土地利用誘導を検討し、良好な住環境を整備します。

公共空間等を活用した地域活動を促進する主なエリア

コミュニティ道路等のゆとりある道路空間や公園、水辺・水面などの公共空間を活用した「賑わいづくり」、良好な街並み形成や宅地内の緑化等の「地域のルールづくり」など、地域住民等が主体の街づくりにかかる地域活動を促進



那珂川オープンカフェ



ライトアップされた高野街道の街並み



名古屋駅前のおもてなし花壇

出典：内閣官房・内閣府総合サイト 地方創生まちづくりエリアマネジメント（パンフレット）

エリアマネジメント活動の事例

広域拠点周辺でエリアマネジメントを促進する主なエリア

広域拠点における市街地開発事業等にあわせて、地域の関係団体・関係者が主体となった街づくり組織の形成や連携を促進

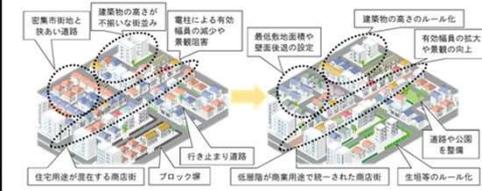


市街地整備方針図

- 凡 例
- 主要幹線道路
 - JR
 - 私鉄
 - 高速道路
 - 河川
 - 行政界

(検討地域) (既決定) 地区計画等の活用を検討

地域の状況に応じた多様な土地利用を実現するため、地区計画制度や市街地開発事業等、多様な土地利用誘導手法を検討・活用



地区計画等を活用した市街地整備のイメージ

(施行完了) (施行中) (計画) (推進地域) 市街地再開発事業

地域の特性を踏まえ、都市開発諸制度等の様々な制度を活用し、都市機能の誘導や都市基盤整備を進め、利便性・安全性・防災性の向上を図り、質の高い市街地開発を推進



市街地の開発イメージ

第3章-分野別方針-

交通体系整備の方針 (素案p.71~80参照)

説明動画



二次元コードから、該当する説明動画のチャプターをご覧ください。

道路網整備について

- 道路の役割に応じた整備を行い、体系的な道路ネットワークの形成を図ります。また、地域間の連絡強化を図るため、道路・橋梁の整備、道路と鉄道の立体交差化を推進します。

主要幹線道路
(完成) (事業中) (計画路線)

都市の骨格を形成し、都市間、周辺区相互間を効率的に連結する比較的高規格な道路

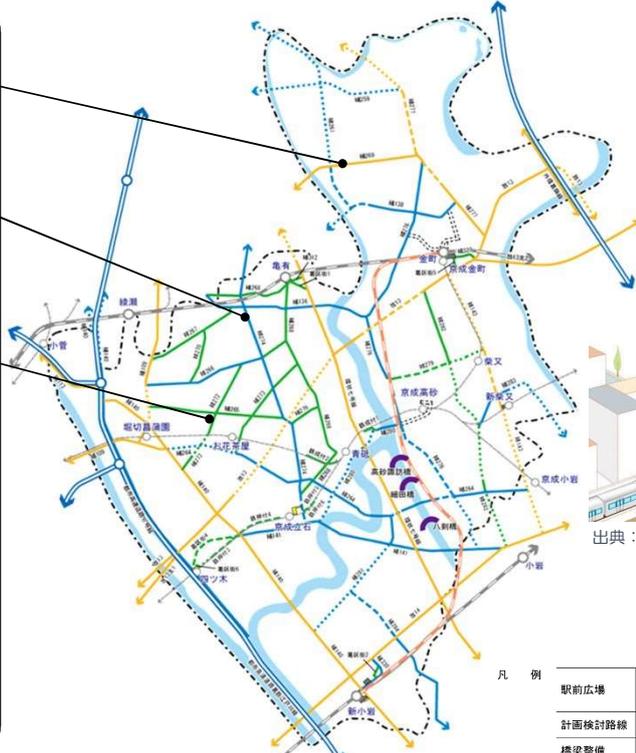
地域幹線道路
(完成) (事業中) (計画路線)

主として区内外交通及び区内の地域間相互の交通を分担するなど最も基本となる幹線道路

生活幹線道路
(完成) (事業中) (計画路線)

主要幹線道路・地域幹線道路に囲まれた地区内の骨格道路で地区相互の連絡、主要施設へのアクセスなどを分担し、地区内の日常の利便性を高める道路

道路網の基本構成



○自転車通行環境の整備



自転車専用通行帯

○道路と鉄道の立体交差化



出典：連続立体交差事業ポータルサイト（東京都建設局）
道路と鉄道の連続立体交差化のイメージ

道路網整備方針図

公共交通網整備について

- 新金線旅客化やバス交通ネットワークの充実、様々な交通手段の活用など、公共交通等による移動しやすい環境整備を進めます。また、鉄道駅周辺では、交通結節機能の充実、駅ごとの課題解決に向けた機能更新、駅前空間の有効活用について検討します。

○駅前広場の整備

それぞれの駅前空間における課題を解決するため、駅周辺の街づくり等に合わせた駅前広場の整備・改善による交通機能の強化や駅前空間づくりに取り組み、交通結節機能の充実や拠点性の向上を図る



(出典：立石駅北口地区市街地再開発組合作成)
立石駅北口地区のイメージ

○バス交通ネットワークの充実

鉄道駅間を結ぶなど、運行頻度が高く利用者が多い基幹的なバス路線と、これを補完する移動手段（フィーダー系統）で構成されるバス交通ネットワークの構築を進める



循環バス



小型乗合交通



公共交通網整備方針図

○様々な交通手段の活用

平坦な土地柄を生かし、区民や来訪者が、安全・快適に自転車を利用できる環境を整備し、自転車の活用を推進するとともに、新たな交通手段として、地域内での移動サービスなどを検討



シェアサイクル

※シェアサイクルとは、相互利用が可能な複数のサイクルポートが設置されることで自由に自転車を利用できるシステム。
レンタサイクルとの違いは、借りたポート以外のポートに返却できる点。

○南北方向鉄道網

不足している南北方向の鉄道網の充実や、区の活性化を図るために、新金線旅客化に向けた取組を進めるとともに、南北方向の広域的な路線の充実についても検討



新小岩駅～金町駅を走行する新金線

- 凡例
- 公共交通の充実に向けて検討する地域
 - 交通結節機能の充実
 - 新金線旅客化
 - 地下鉄整備要請
 - 主要バス路線
 - 片道 60 往 / 日以上 (概ね 15 分間隔)
 - 片道 30 往 / 日以上 (概ね 30 分間隔)
 - JR
 - 私鉄
 - 高速道路
 - 河川
 - 行政界

第3章-分野別方針-

緑と水辺の整備、景観形成の方針

説明動画



(素案 p.81~89参照) 二次元コードから、該当する説明動画のチャプターをご覧いただけます。

- 公園の適正配置を進めるとともに、利用者のニーズに応じた特色ある公園の整備を図ります。また、河川沿いでは、周辺市街地と一体的な親水空間を整備し、賑わいや魅力の創出を図るなど、川を活かした街づくりを進めます。さらに、地域の特性を活かした良好な景観形成を進め、都市の賑わいや活力の創出を図ります。

水と緑の拠点

河川や水辺と一体的な空間となる公園等。河川環境を活かした様々なレクリエーション活動の拠点としての機能や、災害時の避難場所や河川を利用した支援物資の集配など防災活動の拠点としての機能の充実を図る



シンボル道路

幹線道路やコミュニティ道路等は、修景整備をするとともに、その沿道においても良好な景観形成を図る



公園配置を検討するエリア

公園が不足する地域においては、身近な公園や広場等の適切な配置に努める



河川・水辺のネットワーク

河川沿いでは、散策路や親水テラスを整備するなど、快適に散策できる環境づくりを進め、河川・水辺のネットワーク化を図る



都市環境の保全を図る区域

緑地や水面等の良好な自然環境に調和した都市環境の保全を図るとともに、必要に応じて調査・検証等を実施し、地域の特性に応じた風致の在り方を検討



シンボル・ランドマークとなる拠点

広域拠点では、土地の有効・高度利用とあわせて、低層部には街に開いた緑地空間等を創出し、ヒューマンスケールにも配慮した景観を形成



市街地の良好な景観の形成を図る区域

適切に制度の運用を行うとともに、文化的景観の方針検討の進展等にあわせて、必要な見直しを検討



緑と水辺の整備、景観形成方針図

復興まちづくりの方針

説明動画

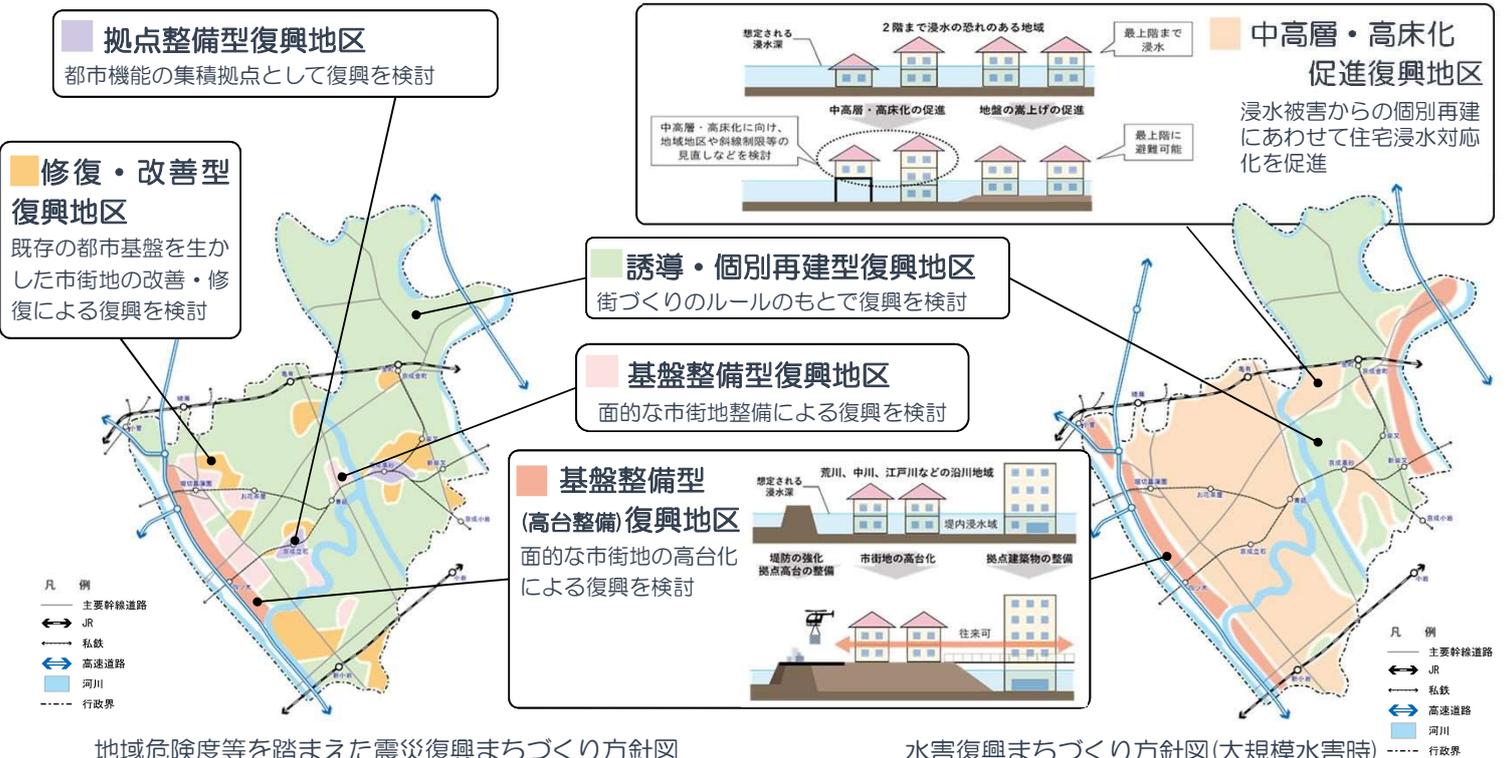


(素案 p.91~101参照) 二次元コードから、該当する説明動画のチャプターをご覧いただけます。

- 想定される主な大規模災害として、震災時と水害時それぞれの災害の特性を踏まえ、行政・区民・事業者等が復興まちづくり方針を事前に共有し、万一の被災時には、これに基づき、迅速な復興に取り組みます。

地域危険度等を踏まえた震災復興まちづくり方針図

水害復興まちづくり方針図(大規模水害時)



地域危険度等を踏まえた震災復興まちづくり方針図

水害復興まちづくり方針図(大規模水害時)

第4章 地域別構想

水元・金町・新宿地域

(素案p.119
~123参照)

素案 説明動画

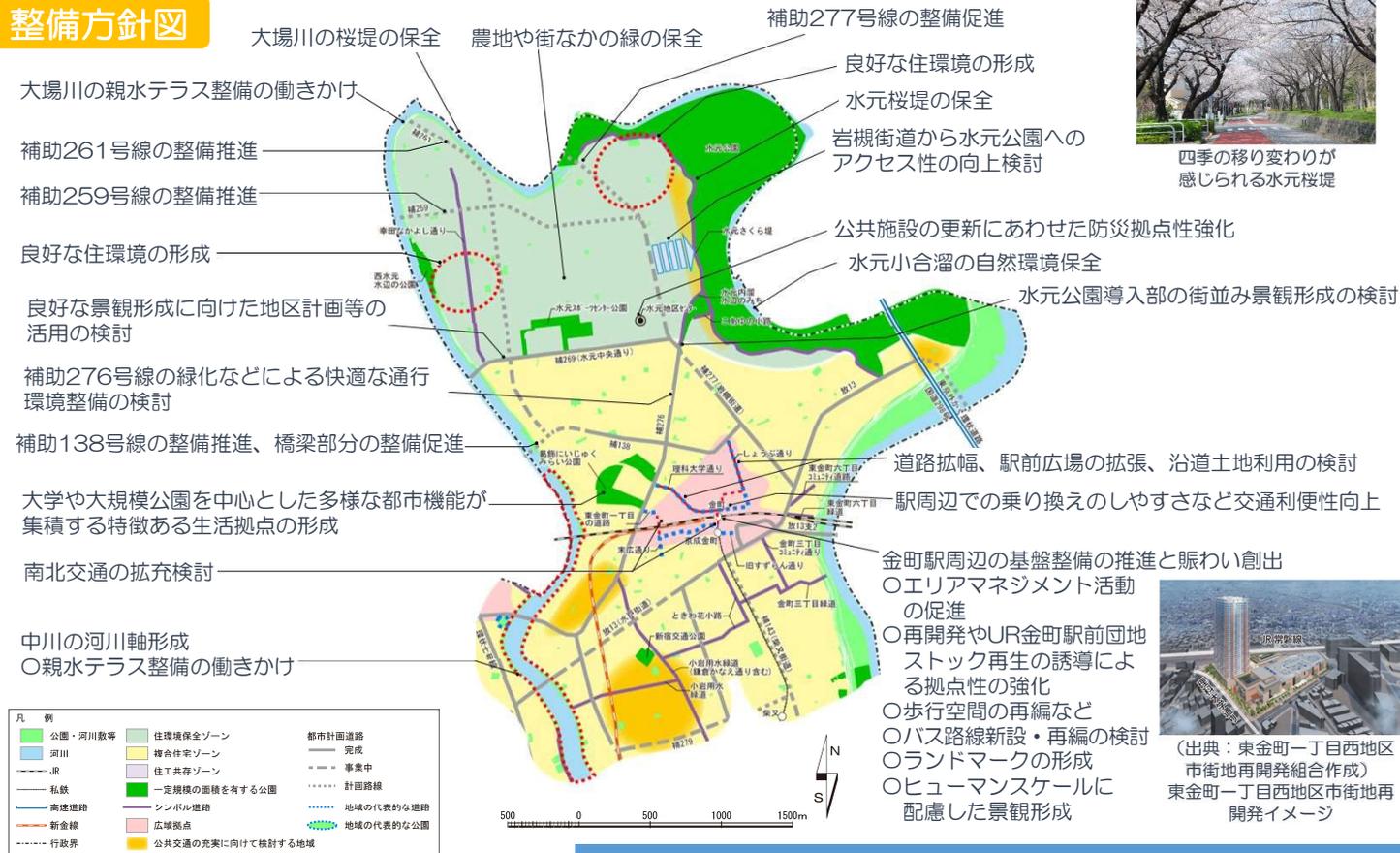


二次元コードから、該当する素案の章、説明動画のチャプターをご覧ください。

地域の将来像

賑わいと活力ある拠点の形成と豊かな自然環境に恵まれ、都市の利便性・快適性を享受できる住み良いまち

整備方針図



柴又・高砂地域

(素案p.125~129参照)

説明動画

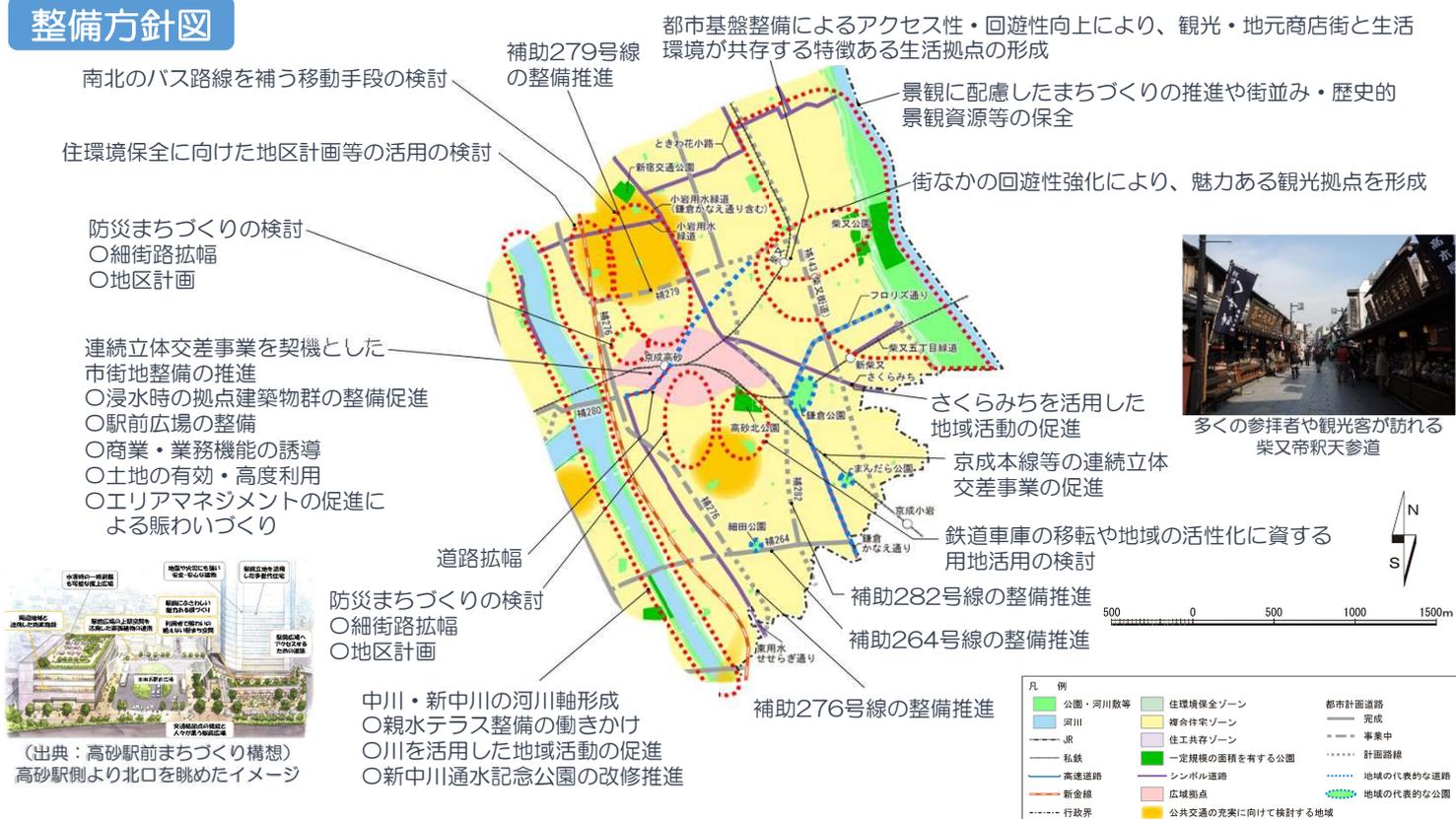
二次元コードから、該当する説明動画のチャプターをご覧ください。



地域の将来像

魅力ある歴史的景観資源と駅周辺の都市機能創出による、賑わいある多世代が暮らしたくなる水辺のまち

整備方針図



第4章 地域別構想 亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域

(素案p.131~135参照)

説明動画

二次元コードから、該当する説明動画のチャプターをご覧いただけます。



地域の将来像

広域拠点を中心に世代を越えた人々が集い、商業の賑わいと安全・快適で住み続けたい、自然と歴史を残すふるさとのまち

整備方針図

〈地域共通〉
寺社などの地域資源を生かした魅力づくり

東京拘置所周辺と公的空間のオープンスペースを活用した地域活動の促進

小菅一丁目地区地区計画の活用による地域資源を生かした街づくりの推進

京成本線荒川橋梁の架替え促進



葛飾菖蒲まつり 堀切菖蒲園

堀切菖蒲園周辺の回遊性向上など賑わい創出

- 堀切菖蒲園駅の周辺環境の改善
- 建築物の不燃化・耐震化の促進
- 防災まちづくりの推進
- 細街路拡幅や行き止まり道路などの解消による安全性の向上
- 路地空間などの街並み景観保全
- 駅周辺の交通環境改善の検討
- 地元商店街などの活性化に向けた身近な商業機能などの誘導検討

周辺の都市施設整備による状況変化にあわせた街づくりの必要性の検討

足立区と連携した綾瀬駅周辺街づくりの検討

亀有駅周辺での観光まちづくりの推進と賑わい創出



広域拠点である亀有駅周辺 亀有駅北口駅前広場

市街地環境の改善と防災性の向上

中川の河川軸形成
○親水テラス整備の働きかけ

曳舟川親水公園が有する環境と調和する街並み誘導の検討
○地域のルールづくりなど地域住民が主体の街づくりにかかる地域活動の促進

お花茶屋駅周辺の商業環境及び密集市街地改善の検討
○商店街の下町らしい街並み景観の保全
○曳舟川親水公園と駅周辺を一体的に活用した地域活動の促進

補助264号線の整備推進

補助272号線の整備推進



青戸・立石・四つ木地域 (素案p.137~141参照)

説明動画

二次元コードから、該当する説明動画のチャプターをご覧いただけます。



地域の将来像

区を中心部として活気にあふれ、暮らしとなりわいが共生し、様々な世代が安全快適に暮らせる、水と緑が身近に感じられるまち

整備方針図

〈地域共通〉
防災まちづくりの推進
河川と一体感のある回遊性の高い空間づくり
○東立石緑地公園や親水テラスを活用した地域活動の促進
○テラスや通路、道路の整備による回遊性の向上

青砥駅周辺の商店街・文化施設などを生かした街づくり

- 地元街づくり組織の活動支援
- 歩行空間の安全性や利便性向上の検討
- 地域の機運の高まりに応じた街づくりの検討

現庁舎敷地及び現庁舎新館の活用の検討

立石駅周辺の再開発等を契機とした市街地整備の推進

- 駅前広場の整備
- 新総合庁舎の整備



(出典：立石駅北口地区市街地再開発組作成) 北口全体イメージ

京成押上線(四ツ木駅~青砥駅間)

連続立体交差事業の推進

- 鉄道の高架化
- 高架下空間の活用検討

四ツ木駅周辺の市街地整備の推進

- 区画4号線の整備推進
- 区画6号線(駅前広場)の整備推進

葛西城址公園などの歴史資源の活用

青戸六・七丁目地区地区計画に基づく基盤整備など、街づくりの推進

機会を捉えた公園整備の検討

補助274号線の整備推進

補助280号線の整備推進

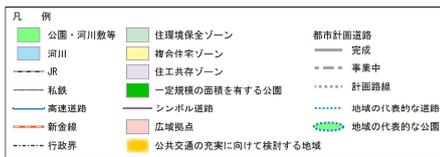


中川に親しむ美しい 東立石緑地公園

奥戸街道の無電柱化等の促進による良好な街並み形成

公共施設が集約する立地を生かした区民交流による賑わいの創出

機会を捉えた公園整備の検討



第4章 地域別構想

奥戸・新小岩地域 (素案p.143~147参照)

説明動画



二次元コードから、該当する説明動画のチャプターをご覧いただけます。

地域の将来像

世代間交流が盛んで魅力的な広域拠点が形成された、親水と浸水が両立した災害に強く緑が充実したまち

整備方針図

〈地域共通〉
中川の河川軸形成
河川空間での賑わい創出
農地の保全などによる緑豊かな市街地の形成

凡例	公園・河川敷等	住環境保全ゾーン	都市計画道路
	河川	複合住宅ゾーン	完成
	JR	住居共生ゾーン	事業中
	私鉄	一定規模の面積を有する公園	計画路線
	高速道路	シンボル道路	地域の代表的な道路
	新金線	広域拠点	地域の代表的な公園
	行政界	公共交通の充実に向けて検討する地域	

奥戸街道の無電柱化等の促進による良好な街並み形成

森永乳業東京工場跡地の土地利用転換に伴う、安全で便利な街づくりに向けた検討

補助281号線の整備推進と整備にあわせた沿道まちづくりの検討

平和橋通りの無電柱化促進

西新小岩五丁目地区での防災まちづくりの推進

葛飾あらかわ水辺公園の再整備による魅力向上

新小岩公園の再整備・活用
○浸水対応型拠点高台化
○地域活動の促進

線路北側の廃線を活用した歩行者ネットワーク整備の検討

建築物の不燃化などによる災害に強い市街地の形成

新小岩駅周辺の再開発などを契機とした市街地整備の推進
○交通結節機能の強化
○商業・業務機能及び文化・交流施設の充実
○安全な歩行空間の確保
○エリアマネジメント活動の促進

補助284号線の整備推進

蔵前橋通りの無電柱化と沿道の高度利用化の検討

私学事業団総合運動場の敷地活用の検討

末広通りの安全性や利便性向上の検討

建築物などの不燃化、防災性向上と街並み保全

旧松南小学校の防災拠点化の検討

(出典：新小岩駅南口地区市街地開発組合)
新小岩駅南口地区再開発イメージ

第5章 実現化方策

(素案p.149~157参照)

素案 説明動画



二次元コードから、素案の該当する頁、説明動画のチャプターをご覧いただけます。

まちづくりの推進体制と取組の実践

区民、事業者等、行政の3者が適切な役割分担を図りつつ、相互に連携、協力しながら、目標とするまちづくりの実現を推進していきます。



都市計画マスタープランのPR

広報かつしかや区ホームページ等による周知に加えて、普及が進むICTなども活用し、幅広い世代における認知度の向上に取り組みます。

①個人情報端末の活用

SNSを活用し、街づくりニュースの発信などを実施し、区民のニーズを吸い上げる仕組みの検討



②教育施設等の活用

小・中学校をはじめ、区内の教育施設等を通じて、わかりやすいリーフレット配布などに取り組む



区民、事業者等が主体の取組の支援

持続的な地域社会を目指し、主体性と独自性をもって取り組む区民や事業者等の街づくり活動を支援します。

①街づくり推進条例に基づく地域活動の促進

街づくり推進条例により、地元組織などが主体の地域活動を支援するため、従来の支援に限らず、支援メニューの追加など制度の拡充を検討



②エリアマネジメントの促進

広域拠点周辺において、公共施設等を活用した賑わいづくりを促進するため、組織の立ち上げ、伴走支援に取り組む



区民、区職員の事前復興意識の向上

これまで実施してきた震災復興まちづくり模擬訓練に加え、震災復興マニュアルの継続的な修正・更新により実効性を高めるとともに、区民及び区職員の事前復興意識の向上を図ります。

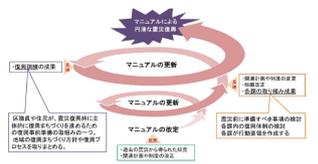
①震災復興まちづくり模擬訓練等

区民及び区職員を対象に、被災後の街の将来像や復興手順、復興まちづくりに向けた事前準備などについて考える訓練を実施



②震災復興マニュアルの更新

震災からの復興に向けて、継続的に取り組むべき事項を検討し、震災復興マニュアルに反映



都市マス素案をご覧になりたい方は、担当者までお声かけください。